

地域の活性化会議

今年度、いろいろなご縁があったエリアがあります。オンラインでワークショップをさせていただいたり、空き店舗の活用を考えるワークショップを担当させていただいたり。そのエリアで活動している団体の方が集まって連携してやっという会議をファシリテートしました。

☆連携の第一歩になれば！の想いを込めて

今回、集まってくださったのは、まちづくりの会、商店街組合、自治会、地域を盛り上げたいと思っている住民の方々でした。

まちづくりの会と商店街組合の両方に参加していらっしゃる方がつなぎ役となってくださり、それぞれの活動をつなげてみようという試みです。

☆連携できること、できないこと

商店街として行っている年末の福引などは、なかなか連携はできないかもしれません。しかし、その他のイベントでは連携に前向きになったようです。

イベントの前にこんな調査をしてみても？あのイベントにこんなことが便乗できそうだね、というような案も出ました。

このとき、普段、活動している方々はもちろんですが、新しく転入してきた住民の方の想いは熱く、楽しそうにいろいろなアイデアを出してくださいました。そして、アイデアを出すだけでなく、自ら動く役割を申し出てくださいました。こういうキーパーソンになるような人を発掘できた、素敵な場になりました。

☆地域資源のあるエリア

このエリアは古い歴史やその歴史を目でみることができ建物があ、地域おこしという意味では恵まれています。しかし、その地域資源を資源として生かしていくということは、地域内外の協働が欠かせません。

地域資源の中の「ヒト」を発掘できたり、まちづくり活動に参加してもらうきっかけができた、人と人のつながりができたりすることが、地域の中で行う地域活性化会議の楽しみなところ。です。

もちろん、こういう会議には行政の方が積極的に働きかけてくれることが大きいようです。楽しんで関わってくれる人々がいることが一番の地域資源だということを感じました。

*コロナ禍の下では、今まで関心がなかった人が地域に関心を持ってくれる機会が増えました。このチャンスをどうやって活かしていくのか？を楽しく想像して、具体化していける時期なのではないか？と思いました。

